

内部障害を紹介します

心臓機能障害とは

全身に必要な血液を送り出すポンプの役割をはたす心臓の機能が、いろいろな病気により低下してしまう状態のことです。

配慮してほしいこと

いすに座ってもらってから、話を始めましょう

具合の良くない方には、重い物を代わって持つなど、声をかけましょう

階段を避け、エレベーターやエスカレーターを勧めるなど、本人に聞いて必要な介助をしてください

腎臓機能障害とは

いろいろな病気により、腎臓の働きが悪くなり、からだに有害な老廃物や水分を排泄できなくなり、不必要な物質や有害な物質がからだの中に蓄積する状態のことです。

このような方もいます

人工透析のため定期的に通院しています

糖尿病性網膜症により、視力が低下している方もいます



呼吸器機能障害とは

呼吸器や他のいろいろな病気により、肺の機能が低下して、酸素と二酸化炭素の交換がうまくいかずに酸素が不足する状態のことをいいます。

配慮してほしいこと

酸素は物を燃やしやすいので、近くではタバコを吸わないようにしましょう

窓口等で対応する場合は、いすを勧め、楽な姿勢でゆっくりと話をしてもらい、長時間にならないようにしましょう

酸素は物を燃やすから隣でタバコを吸わないでよ！
顔に大ヤケドするよ！



肝臓機能障害とは

肝臓は生命維持に欠かせない多くの役割を担っている臓器です。肝臓機能障害とは、いろいろな原因によって肝臓の機能が低下した状態のことです。肝臓の機能が低下すると、倦怠感(だるさ)、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、浮腫(むくみ)、出血傾向(あざがしやすい)、易感染性、食道・胃の静脈瘤破裂による吐血、意識障害などが生じやすくなります。

配慮してほしいこと

過食(特に蛋白質の取りすぎ)は意識障害の誘因となり、食塩はむくみを悪化させます。アルコールや症状を増悪させる食べ物を無理にすすめないようにしましょう。

感染しやすいため、風邪をひいているときはできるだけ接触を避けましょう。

共通の配慮点(心臓、呼吸、腎臓、小腸免疫機能)

風邪をひいている時は、絶対にうつさないように配慮しましょう



小腸機能障害とは

小腸の広範囲に及ぶ切除や病気によって、働きが不十分になり消化吸収が妨げられ、通常の径口摂取では栄養維持が困難な状態のことをいいます。

膀胱・直腸機能障害とは

尿をためる膀胱、便をためる直腸がいろいろな病気のために機能低下または機能を失ってしまった状態のことで、そのため、排泄物を体外に排泄するための人工肛門・人工膀胱を造設する方もいます。これらの方をオストメイトといいます。

オストメイトマーク

オストメイト(人工肛門・人工膀胱を保有する方)を示すマークです。オストメイト対応トイレ等の設備があることを示す場合などに使用されています。



配慮してほしいこと

プライバシーには十分配慮して、原因疾患など不要なことは聞かないようにしましょう

ゆとりのある広めの洋式トイレに案内してください。設置してある場合はオストメイト対応トイレに案内しましょう

オストメイトの方は、こんなことに困っています

- ★汚れたパウチや衣服、身体を洗う設備がない
- ★腹部を洗いたいけど石鹸や温水が出ない
- ★着替えやパウチを置く場所がない
- ★正しく装着できたかを確認する鏡がない
- ★外見上は障害があることがわからないので、車いすトイレに入りづらい
- ※パウチ(尿や便を溜めておくための袋)

内部障害の特性

- 身体内部の機能の障害です。
- 外見からは分かりにくい障害です。
- 疲れやすいです。
- 携帯電話の影響が懸念される方もいます。
- タバコの煙が苦しい方もいます。
- トイレに不自由されている方もいます。

